

シエロ ヘアカラー クリーム

CIELO

使用説明書・手袋



- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

?

本品に限らず、ヘアカラーでかぶれの症状がでたことはありますか?

YES

絶対にヘアカラーをしないでください

かぶれの典型的な症状

- ① 染毛の半日後くらいからかゆみを感じ、はれ・赤み・ブツブツ等が出始め、染毛の48時間後に最もひどくなる。
- ② 使用のたびにかゆみを感じる。

かぶれの症状が軽かった場合も、**繰り返し使用すると次第に症状が重くなり、まれに重いアレルギー反応***が突然起こることがあります。(※ 全身じんま疹、呼吸困難等)

NO

毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をしてください

この面の「皮膚アレルギー試験の手順」をよく読んでください。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪が生え際・顔・首筋等に、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツ等の症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重いアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

⚠ 使用上のご注意

1 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、けん怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には、右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分くらいおよび48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るとおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪をいためたり、色落ちしたりすることがあります。

3 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、ただちに使用してください。
- ② 換気の良い所で使用してください。

- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、ただちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、ただちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

他に守っていただきたいこと

- ① 温度が40℃以上になる所に置いたり、火の中に入れてください。
- ② 本品の容器を分解すると使用できなくなります。
- ③ 幼児には使用しないでください。
- ④ 公衆浴場等でのご使用は、ご遠慮ください。
- ⑤ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると色が落ちませんので、充分ご注意ください。
- ⑥ パーマントウェーブをかけた髪にヘアカラーをすると、ウェーブが緩むことがありますので、ご注意ください。
- ⑦ 容器から出した薬剤は、取り置きできません。必ず洗い流して捨ててください。
- ⑧ 使い切ってから、市町村等で定められた方法により廃棄してください。

より詳しい情報はこちら

- ヘアカラーによるかぶれの情報
- かぶれた方への代わりの商品紹介

ホーユー パッチテスト 検索

www.hoyu.co.jp/startup/patch_test.html

商品に関するお問い合わせ・ご相談はこちら

お客様相談室

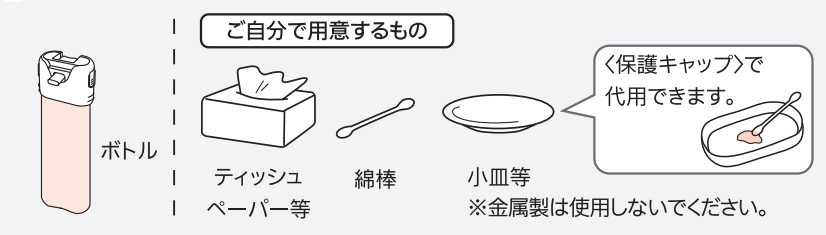
0120-416-229

土・日・祝日及び弊社休業日を除く
午前9時～午後5時

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

毎回必ず、染める2日前(48時間前)にパッチテストをしてください。

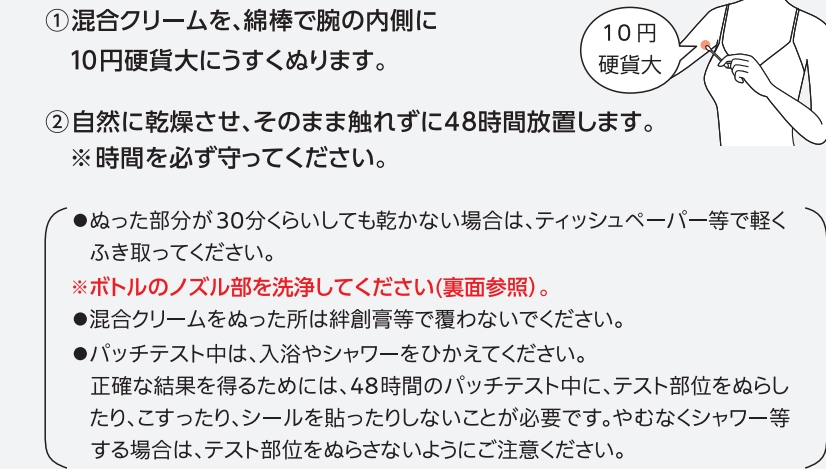
1 次のものを準備します



2 パッチテスト用の混合クリームをつくります



3 腕の内側にぬって48時間放置します



4 30分後と48時間後の2回、テスト部位を観察します

塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等、皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないでただちに洗い落とし、ヘアカラーはしないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、ただちにテストを中止し、混合クリームを洗い落としてヘアカラーはしないでください。

5 48時間経過後、異常がなければヘアカラーをしてください

※異常があった場合は皮膚科医の診療を受けてください。また、製品についてはお客様相談室までご連絡ください。

※パッチテストの汚れが残っても、通常の入浴によって、自然に落ちます。

ご使用前の準備

暑い時期は、ボトルを室温20~30℃の場所に1時間以上置いてください。

ボトルが温まると、2色のクリームが均等に出ず、染まりが悪くなる場合があります。

注意

- 寒い所では染まりにくいので、室温20~30℃の場所でお使いください。
- 乾いた髪に使用し、染毛中の入浴は避けてください。
- シャンプーは、染める前日までに済ませてください。髪の汚れがひどいとき、整髪料を多めに使用しているとき、一時着色料や金属粉等が髪についているときは、十分に洗い流してください。

[やむをえず、染める当日にシャンプーする場合]

- 地肌を傷つけないように、ていねいに洗ってください。
- 髪をよく乾かしてください。髪がぬれていると、薬剤がたれたり、染まりが悪くなる場合があります。

1 必要なものをそろえます



ご自分で用意するもの

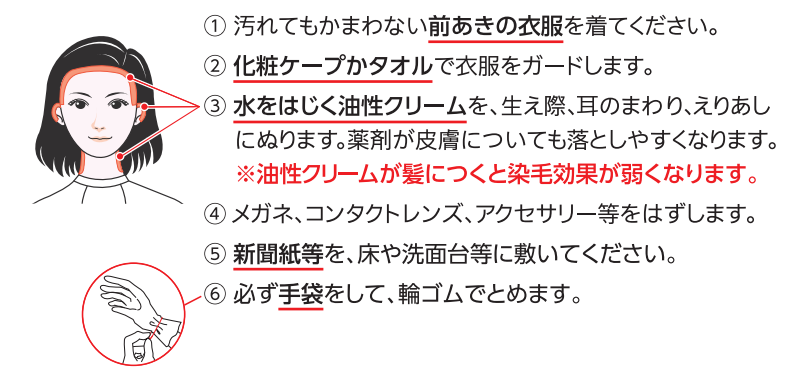
- 化粧ケープかタオル
- 汚れてもかまわないタオル
- 新聞紙等の敷物
- ティッシュペーパー等
- 水をはじく油性クリーム
- 鏡
- 輪ゴム2本(手袋用)
- シャンプー・コンディショナー等
- 時計

便利なグッズは、オンラインショップでご購入できます。

ホーユー サポートグッズ 検索

油性クリーム・ケープ 等

2 汚れ対策をします



皮膚が着色した場合

- 強くこすると炎症や傷の原因になりますので、ご注意ください。
- 汚れた部分にメイク落としをなじませ、しばらくの間、軽くマッサージをします。次に、蒸しタオルをあてた後、石けんで洗い流します。石けんをタオルにつけて軽くこするのも効果的です。
- 汚れが残っても、洗髪や入浴によって、数日程度で自然に落ちます。

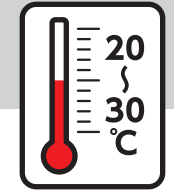
ご使用の手順 ご使用前に必ず**反対の面**もお読みください。

すぐ分かる! 使い方動画 www.cielo.jp/lineup/cream/

ショートヘア(髪全体)約1回分 ※全量で約15回 ブラシに出せます。

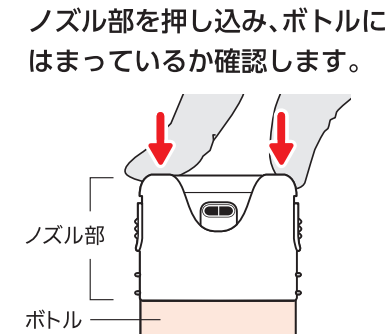
注意 ●クリームが目に入らないようご注意ください。 ●染める2日前(48時間前)に毎回必ず、皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。 ●寒い所では染まりにくいので、室温20~30℃の場所でお使いください。 ●使い始め等に黒いクリームが出ることがありますが、仕上がりに影響ありません。

ご使用前の注意



暑い時期は、ボトルを**室温20~30℃の場所**に1時間以上置いてください。
ボトルが温まると、2色のクリームが均等に
出ず、染まりが悪くなる場合があります。

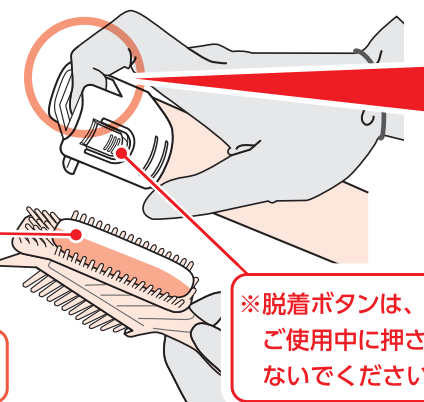
1 クリームをブラシに出します



クリームを、**ブラシと平行に出します。**

※黄色と白色のクリームが均等に
出ることを確認してください。

注意 使い始めに、クリームが飛び散ることがあります。目に入らないようご注意ください。



※脱着ボタンは、
ご使用中に押さないでください。

重要 **プッシュレバーを
しっかり押してください。**



止まる所 まで押す

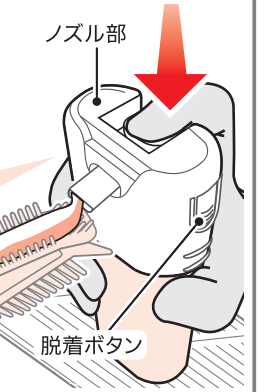
押す力が弱いと、
2色のクリームが均等に
出ず、染まりが悪くなります。

クリームが1色しか出ないときは...

①ノズル部をはずして、つけ直します。
(両側の脱着ボタンを押すとはずれて、
はまる時はカチッと鳴ります。)

②ボトルを**平らな場所**に立て、
レバーを**強く押します。**
※ボトルの転倒にご注意ください。

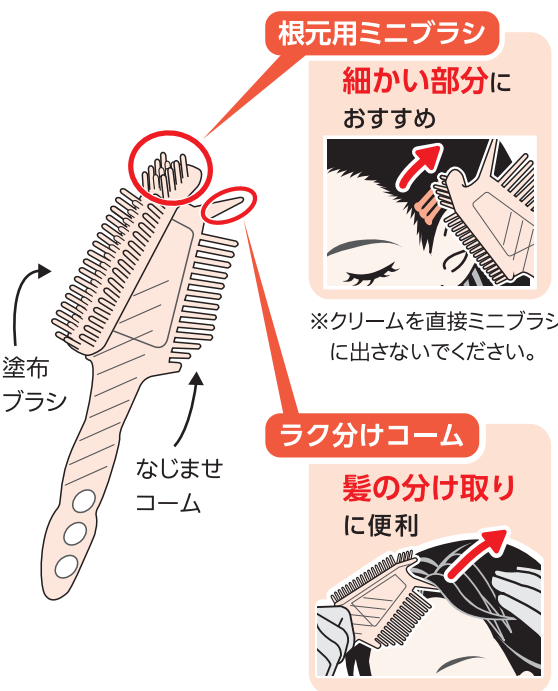
それでも1色しか出ない場合は、
ご使用をおやめください。
1色のクリームだけでは染まりません。



2 乾いた髪にクリームをぬります

注意 ●クリームの飛び散りにご注意ください。 ●クリームが肌についたときは、水でしめらせたティッシュペーパー等ですぐにふき取ってください。時間がたつと、色が落ちにくくなります。 ●クリームがなるべく地肌につかないようにしてください。 ●専用クシで地肌や髪をいためないようにしてください。 ●混合クリームの色は徐々に変わり、仕上がりの色とは異なります。

専用クシ 各パーツの使い方



根元用ミニブラシ
細かい部分に
おすすめ
※クリームを直接ミニブラシ
に出さないでください。

ラク分けコム
髪の分け取り
に便利

髪全体

ぬる時間 10分 ※早くぬり終えた方も10分たつまでお待ちください。

1 白髪が目立つ部分から、根元にたっぷり**ぬり、毛先までのばします。**



生え際・耳まわり 根元から毛先へ

分け目 分け目から両側へ

後ろ 頭頂部からえり足に向けて、
髪を分けながら、
根元からぬります。

2 コームで髪全体をとかし、均一になじませます。



仕上げに
根元を染めるコツ
根元のクリームを、
指先で軽くなじませます。

放置時間 15分

3 放置します。

●太くて硬い髪の方、白髪の多い方は、
5分ほど長く放置してください。
※長く放置しすぎないでください。
髪が希望の色にならなかったり、
髪や地肌をいためるおそれがあります。
●クリームが肌についていないか
確認してください。

注意 ご使用后、ノズル部は
ただちに下記の手順
に従って洗浄してください。
洗浄しないと薬剤が出て、
周囲を汚すおそれがあります。

新しく伸びた部分

ぬる時間 10分 ※早くぬり終えた方も10分たつまでお待ちください。

**1 新しく伸びた部分にクリームを
たっぷりぬり、よくなじませます。**

※上記の手順もよくお読みください。

注意 毛先は、後で(右の手順**3**)でぬってください。
最初にぬると、染め重なって暗い色になります。

放置時間 10分

2 放置します。

さらに 5分放置

**3 根元のクリームをコームで
毛先に向かってのばし、放置します。**

3 洗い流します

よくすすぎ、シャンプーを2回しっかりします。
コンディショナー等で仕上げ、よく乾かします。
※汚れてもかまわないタオルでふいてください。

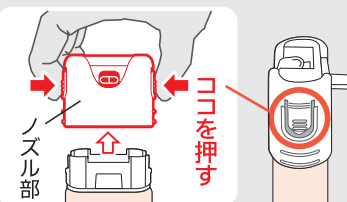
注意 ●すすぎ湯が目に入らないようご注意ください。
●すすぎ湯が壁や浴槽等につくと汚れる場合があります。髪をすすぐ前に、浴槽やタイル等をぬらしておくと汚れが落ちやすくなります。

残ったクリームは、
次回も使えます。

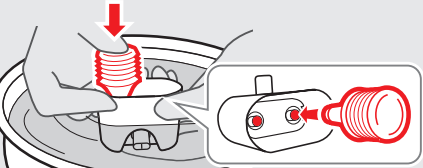
注意 ノズル部を
洗浄してください。
しっかり洗わないと、次回、
クリームがたまって飛び散る
おそれがあります。

ノズル部の洗浄方法

①ノズル部をはずします
両側の脱着ボタンを押しながら、
上へ引っぺがります。



②洗浄します
ノズル部をぬるま湯にしずめて、付属の
洗浄用スポイトを裏側の穴に差し込みます。
スポイトを押して2箇所を洗います。

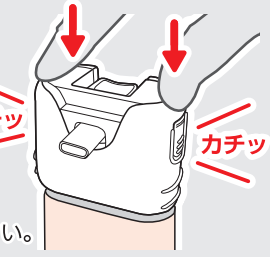


③乾燥させます

注意 新聞紙等の上に置いて
乾かしてください。
ノズル部やスポイトに付着した水で、
洗面台を汚すおそれがあります。

④ノズル部を上から押し込み、
ボトルにはめます
(カチッと鳴るまで押します)

●きちんとはめないと、2色のクリーム
が均等に出なくなります。
●プッシュレバーを押さないようご注意ください。
●保護キャップをはめ、高温の場所を避けて保管してください。
●専用クシ・スポイト・手袋は、洗浄・保管してください。



使用後のご注意

●次のような場合は、衣類、帽子、枕カバー等に
色移りすることがありますので、ご注意ください。
○髪がぬれているとき
(汗をかき、雨にぬれる、洗髪後等)。
○整髪料や育毛剤等を多量に使用したとき。
○ヘアカラー後のすすぎ等が不充分なとき。
●再度ヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を
使用する場合は、髪や地肌への負担を考え、
1週間くらいの間隔をおいてください。
●使い切ってから、市町村等で定められた方法
により廃棄してください。

手袋はここからはがしてください。